



全家協は人々の豊かな生活を支える家庭用品卸の全国組織です。



ALL JAPAN WHOLESALERS' ASSOCIATION
全国家庭用品卸商業協同組合



全家協とは、全国家庭用品卸商業協同組合の略称です。私たちは通産省（現・経済産業省）の認可を受けた我が国最大の規模と実績をもつ「共同仕入」機構です。

昭和43年の設立以来、製・配・販の三位一体による流通の合理化をめざし、革新的な歩みを続けてまいりました。全国一貫物流体制の下で国内の仕入元は600余社に及び、広く海外ともダイレクト仕入を続ける一方、企画提案、PB商品の開発など商品に情報を付加し、販売店にお届けします。

販売先はニーズの多様化、個性化を受けた小売業のクロスオーバー化に対応し、全国のあらゆる業態販売店に直結しております。

流通業をとりまく商環境の変化にはめまぐるしいものがありますが、変化への即応こそ私たちの使命です。潮流を的確に捉え、情報と英知を結集し、業界の魁を果すこと、すなわち、メーカー・卸・販売が繁栄の道と確信いたします。



企画提案

小売業の繁栄なくして卸の繁栄はありません。

組合員個社が、GMS、HC、DgS、SM、DS、専門店、CVS等を視野とする360度可変式全天候型卸集団とお考え下さい。

業種、業態別に的を絞ったマーチャンダイジングによって、全国を自由自在に展開できるのも私たちの誇りです。



商品開発

プロリーブは、日常の生活のシーンに合わせたベーシックな商品を開発したオリジナル商品群（PB商品）です。1984年以来、洗濯用品や台所用品、行楽用品と幅広い商品を展開しています。

国内、海外共に商品開発を日々検討しております。

国内メーカーとのコラボレーションや海外商品開発をはじめとする使い易さの追求。消費者のニーズや価値観の多様化にすばやく対応し、小売業の皆様の信頼を得ています。

リビングワンダーランド Living Wonderland

「情報力」「物流力」「商品力」三位一体となった進化した見本市として2005年に第1回目を立ち上げました。

それをきっかけに、今日まで、現状の社会環境を意識しながら形を変え見本市を行っております。商品、情報、物流、組織の全国ネットを共有し、地域密着連合として営業活動を点から面に広げ、進化し続ける全家協の姿をご覧いただきたいと存じます。





情報

店頭スペースをいかに管理し、売上と利益の最大化を図るかは、配・販共通の課題です。

業界標準規格によるオンラインシステムは、リアルタイムでの電子データ交換(EDI)を可能にしました。

全国の売り場情報、商品情報を集約し、ビッグデータ活用による鮮度高い情報とともに、マーチャンダイジングの基礎資料に活かします。

また、異形を特性とする家庭用品業界において、どこよりも早く標準棚割りの画像化に着手。顧客満足を実現する商品政策をお手伝いします。

教育

卸売業にとって人こそ財産です。私たちは個社では中々できないセミナー、視察などの各種集合研修や、資格検定、通信教育など職位、職能別に専門性の錬磨を継続的に行い、スキルアップを怠りません。また、視聴覚教材のライブラリー化を図り、サービスレベルの均一と教育投資の最大化を常にめざしています。

その他事業

組合を通じて行うことでスケールメリットが得られる、車両や一般物件の転貸リース、事務用品の共同仕入サービス、慶弔電報サービス、フラワーギフト(祝花)販売サービスなど、低価格で斡旋もしています。



全国家庭用品卸商業協同組合のプロフィール

通産省(現 経済産業省)許可	昭和43年3月1日
決算期	2月末日
組合員(企業)数	21社
総従業員数	2,000人
総年商	1,000億円
事業内容	卸売業・事業協同組合
創立日	昭和42年11月27日
設立日	昭和43年3月14日
ホームページ	https://www.zenkakyo.or.jp

役員構成

理事長	岡部 弘幸 (株式会社岡部 社長)
副理事長	清水 政弘 (株式会社麻友 社長)
副理事長	手塚 圭一郎 (手塚商事株式会社 社長)
理事	下 正晴 (株式会社丸金 社長)
理事	鈴木 豊樹 (株式会社ダルク 社長)
理事・事務局長	杉田 芳郷 (員外理事)
監事	白石 恵一 (北九州共和株式会社 社長)
最高顧問	中村 幸夫 (株式会社スリーキューブ 相談役)

- 昭和42年（1967年）・富士銀行本店にて創立総会開催。組合員38社。
- 昭和43年（1968年）・通商産業省設立認可。
 - ・第1回全国家庭用品優秀メーカー大見本市を東京パレスサイドホテルにて開催。
- 昭和44年（1969年）・海外調査団を米国家庭用品市場視察に派遣。
- 昭和45年（1970年）・海外調査団を欧州家庭用品市場視察に派遣。
- 昭和46年（1971年）・中国へ調査団派遣。
 - ・その他フランス・イタリア・インド等から輸入を積極的に実施。
- 昭和47年（1972年）・ZK会の創立総会を開催。（現協力会の前進）
- 昭和48年（1973年）・全家協第2次総合発展3カ年計画を策定。
 - ・チリ紙、トイレットペーパーに端を発した石油ショックによるパニックに、組織をあげて対応し、消費者の要請に応える。
- 昭和49年（1974年）・日本住宅公団より関東配送センターの土地1,908㎡を取得。
- 昭和50年（1975年）・小田原アジアセンターにて、第1回全家協大学を開校。
 - ・第1回文化チェーン全国大会を熱海ニュー富士屋ホテルで開催。
- 昭和51年（1976年）・全家協のシンボルマーク"愛とゆとりのテーゼ"を設定。
- 昭和52年（1977年）・本部事務所を東京都中央区馬喰町1-5-4中庄ビル4階に移転。
 - ・組合創立満10周年
 - ・ベトナムの家庭用品事情視察のため、代表団訪越南。
 - ・パルテックス公司総裁と年間1億5,000万円、向こう3年間の契約を締結。
 - ・関東配送センターの竣工。500㎡。
- 昭和53年（1978年）・経営コンサルタントの平力、嶋谷輝雄両先生と専属契約を結び、全国地方本部臨店指導を実施。
- 昭和54年（1979年）・春季・広州交易会に各地区代表が参加。籐竹製品を現地買付。
- 昭和55年（1980年）・文化チェーン地区大会を各地区で開催。全国チェーン組織の高揚を図る。
- 昭和56年（1981年）・第1回オールジャパン・リビングフェアを開催。全国の有力販売店を招待。
- 昭和57年（1982年）・組合創立満15周年。
- 昭和58年（1983年）・全国中小企業団体中央会の補助事業認定を受け、「卸問屋の見直しと専門店の活性化」調査事業を実施。
 - ・家庭日用品卸売業向け販売管理パッケージソフト（ZENkakyo-Members・COMmon・Software=ZEMCOS）第一次システム完成。
- 昭和59年（1984年）・中小企業等協同組合法施行35周年にあたり、優秀組合として中小企業庁長官表彰受彰。
- 昭和60年（1985年）・全家協改革構想実現のため、各地区において「1日全家協」を開催。政策の多元化を打ち出す。
- 昭和61年（1986年）・ZEMCOS2次システム完成。
 - ・台湾現地買い付け窓口事務所を開設。
- 昭和62年（1987年）・組合創立満20周年。
 - ・家庭用品業界VAN（HOMES-NET-JAPAN）スタート。
- 昭和63年（1988年）・創立記念キャンペーンによる海外流通事情視察団を台湾・香港に派遣。



- 平成元年（1989年）・中小企業等協同組合法施行40周年にあたり、優秀組合として通商産業大臣表彰受彰。
- 平成2年（1990年）・全家協青年部会全国大会開催。
- 平成3年（1991年）・全国中小企業団体中央会の青年部研究会補助事業の指定を受け先進卸売事例研修会を開催。
- 平成4年（1992年）・通商産業省より「AST21新流通システム」の研究に対し、補助事業の指定を受け物流効率化の調査研究に着手。
- 平成5年（1993年）・アメリカに第1回青年部会流通視察団を派遣。
- 平成6年（1994年）・組合事業小集団活動の新たな試みとして、アスコット事業を分離独立。
- 平成7年（1995年）・阪神淡路大震災に際し日本赤十字社を通じ義損金を寄贈。
- 平成8年（1996年）・組合創立満30周年。
・全国中小企業団体中央会補助金指定事業の認定を受け、受発注一元化スタート。
- 平成9年（1997年）・家庭用品画像データ化に着手。
- 平成10年（1998年）・創立30周年記念企画として世界三大ハウスウェア・ショウ（ドイツ・イタリア・アメリカ）に派遣。
- 平成11年（1999年）・全国中小企業団体中央会補助金指定事業の認定を受け、新ネットワーク調査事業実施。
- 平成12年（2000年）・組合事業に「リーダーカンパニー制」を導入。
・ZKホームページ運用開始。
- 平成13年（2001年）・全家協35周年・協力会25周年記念合同企画（製・配営業幹部・実務者）台湾流通視察研修会として派遣。
・卸活性化懸賞論文の公募。
- 平成14年（2002年）・全家協35周年・協力会25周年記念合同企画（製・配トップ）2002ベトナム経済視察実施。
・事務所を東京都中央区新川1-26-19全中・全味ビル3階に移転。
・本部移転を機にオフコンからクライアントサーバーシステム移行。
- 平成15年（2003年）・全国中小企業団体中央会が行う「中央会電子認証サービス」を採用。
- 平成16年（2004年）・輸入品の小口出荷体制を確立。
・新潟県中越地震に際し、新潟県庁災害対策本部に義損金を贈呈。
- 平成17年（2005年）・製・配共創型による新しい見本市livingWonderland2005を開催。
- 平成18年（2006年）・組合創立満40周年。
・販売店・メーカー・組合員に向けた、組合創立「40周年宣言」を採択。
- 平成19年（2007年）・創立40周年記念企画として中国（北京・上海）に派遣、製・配・販の関係を強化。
・新潟県中越沖地震に際し、新潟県柏崎市に義損金贈呈。
- 平成20年（2008年）・組合PB「プロリープ」及び「プロセクション」が乳がん撲滅・早期検診啓蒙活動の「ピンクリボン運動」に参加。
- 平成21年（2009年）・電子認証によるWebシステムの活用事例をもって経済産業省主管中小企業IT経営力大賞、全国中小企業団体中央会会長賞受賞並びにIT経営実践組織認定。
- 平成22年（2010年）・アスコット事業部がアスコット(株)に法人化し、組合へ加入。
- 平成23年（2011年）・全家協創立満45周年。
・東日本大震災に際し、郡山市と宇都宮市義損金を寄贈。



Heisei

- 平成24年（2012年）・全家協45周年・協力会35周年記念合同企画（製・配トップ）2012台湾市場視察研修会を実施。
- 平成25年（2013年）・20年に一度の式年遷宮を迎えた伊勢神宮に行き、組合本部及び組合員とメーカー様の繁栄を願い、内宮・外宮で御垣内参拝(特別参拝)。
 - ・全家協青年部会アメリカ（ロサンゼルス・ラスベガス）最新流通業態視察。
- 平成26年（2014年）・LivingWonderland 10周年記念パーティを東京国際フォーラムに於いて開催。
- 平成27年（2015年）・全家協青年部会欧州（ロンドン）最新流通業態視察。
- 平成28年（2016年）・全家協創立満50周年。
 - ・中小企業等協同組合法施行60周年にあたり、全国中小企業団体中央会より感謝状受彰。
- 平成29年（2017年）・全家協50周年・協力会40周年記念合同企画（製・配トップ）2017シンガポール市場視察研修会を実施。
- 平成30年（2018年）・全家協青年部会米国（シアトル）最新流通業態視察。

Reiwa

- 令和元年（2019年）・全家協青年部会中国（上海）最新流通業態視察。
- 令和2年（2020年）・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通常総会を書面総会に変更。製配合同フォーラム・LivingWonderlandなどの行事を中止。
- 令和3年（2021年）・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、通常総会を書面決議に変更。
- 令和4年（2022年）・通常総会をリアルとWEBのハイブリッド会議にて開催。
 - ・Living Wonderlandを3年ぶりに開催。
 - ・全家協創立55周年・協力会創立45周年「感謝のつどい」をホテルオークラ東京にて開催。
- 令和5年（2023年）・通常総会を3年ぶりに第一ホテル両国にてリアル開催
- 令和6年（2024年）・全家協青年部会インド（デリー等）最新流通業態視察。

※地図、組合情報はホームページをご確認下さい。